

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171600226		
法人名	社会福祉法人 歌垣福祉会		
事業所名	グループホームうたがきの里		
所在地	佐賀県杵島郡白石町大字築切264番地1		
自己評価作成日	平成25年2月5日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成25年2月20日	外部評価確定日	平成25年4月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>周りを田園に囲まれた自然環境のもと、近くには小学校・保育園があり、子供たちの声を聞きながら毎日を過ごしています。散歩やウッドデッキ・玄関先での外気浴を楽しみ、ゆっくりとした雰囲気の中、笑顔や笑い声が飛び交い、家庭的な温かみをモットーに真心で支援しています。 レクリエーションや毎日のリハビリ活動も特色であり、機能の低下防止に繋がっています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>「敬愛・親愛・友愛」の精神を基本とし、「出会い・ふれあい・語り合い」の心で利用者の暮らしを見守り、支援している事業所である。利用者の思いや望みを大事にし、利用者に喜んでもらうのが、職員にとって何よりの励みにもなっている。また、利用者から色々な知恵をもらうこともある。 職員の笑顔は利用者や家族に安心感をもたらしている。地域のクリーンデーに職員が参加したり、小学校や地域の運動会に出かけたり、地元消防団や近隣住民の協力を得ながらの避難訓練、散歩や近くのお地藏さん詣り、すぐそばにある保育園や小学校の子どもたちが通る姿も見ながら元気をもたらったりと、地域との交流が図られている。彼岸のおはぎ作りや七夕饅頭作りに地域の方が手伝いに見えたり、地域の寺から和尚が花祭りで来訪するなど、地元ボランティアの参加もあっている。ホームの広いウッドデッキは、食事や野外バイキングをしたり、椅子に座って思いおもいに時を過ごしたり、日光浴、緑のカーテンを楽しむ等、利用者のお気に入りの場所である。快適な室内環境、季節感が感じられるように工夫したりリビングなど、いたる所に利用者への配慮が見られるホームである。</p>

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Aユニット)	自己評価／ユニットB(Bユニット)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼時に基本理念、介護理念の唱和をし、実践に繋げている	事業所の理念と各ユニットの理念を作り、毎日朝礼時に唱和し、理念の共有実践に努めている	ユニット毎に、より具体的な理念を話し合って作り上げている。いずれも地域に根ざしながら、家庭的な雰囲気の中で穏やかな暮らしを願っている。どの職員にも理念がしっかりと共有され、日々の支援にあたっている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元消防団の協力を得て、避難訓練を実施している。小学校、地域の運動会にも出かけ、クリーンデーにも参加し交流をしている	地域消防団との交流、回覧板、クリーンデーの参加、おはぎ作り等の手伝いボランティアをお願いしたりと交流を心掛けている	地元の自治会にも加入し、地域と結び付いている。また、回覧板は、地域の様々な情報源にもなっている。職員は地域の清掃作業や地域ならではのボランティア活動にも参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	消防団との訓練時、支援の方法を話したり、受診時に待合室で地域の方に理解していただく事がある	消防団との訓練時、支援の方法を話したり、受診時に待合室で地域の方に理解していただく事がある		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	状況の報告や質疑応答により、グループホームを知って頂いたり、貴重な案を頂いてサービス向上に努めている	運営推進委員会ではホームの現状報告をし、委員の皆様より意見を頂き、サービス向上に繋げるよう努めている	行事内容の見直し、行事の際の家族や推進委員の手助け、地震対策、推進委員と利用者とのふれあい、非常時の地域住民の関わり方、その他いろいろな事が運営に反映されている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進委員会にも市町村担当者に参加してもらい、実情を報告し情報収集も行いながら、協力を得ています	運営推進委員会に出席依頼をし、行政の立場からの意見・協力を頂けるよう取り組んでいる	管理者は、行政の福祉関係の担当者で顔見知りになっている。通院介助負担、昼夜逆転の多い利用者の支援の在り方、安心サポート、停電対策、各種の情報交換など、行政との協力関係が築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業計画でも全職員確認をし、毎月の委員会でも話し合い、見守り付き添いを行いながら身体拘束をしないケアに取り組んでいる	もしもの時の為に、身体拘束の承諾書は頂いているが、センサーマット等の利用や見守り重視を念頭に身体拘束はしていない	身体拘束は勿論、心の拘束がもたらす弊害についても外部での研修会や事業所内の勉強会で職員は、十分に認識している。玄関や非常口の施錠も無く、見守りや付き添いで対応している。入所時に家族にも身体拘束の無いケアについて納得してもらっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士でお互いのケアの中で虐待がないか話し合い心掛け、委員会でも注意を促し防止に努めている	思わぬ行動をされる方があり「ダメ」等の制止の言葉を発する事があるが、身体の虐待はもちろんの事、精神的虐待も言葉使いや態度に気をつける様、職員会議時等に注意を促し防止に努めている		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Aユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(Bユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	以前の研修で学んだ職員はいるが、活用はなかった	以前、学んだままで活用、支援までには至っていない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には質問に応じながら説明を行っている。退所の際も、家族・主治医と話し合いを重ね、理解いただき納得をさせていただいている	契約時には質問に応じながら説明を行っている。退所の際も、家族・主治医と話し合いを重ね、理解いただき納得をさせていただいている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日ごろから話し、コミュニケーションを積極的にとり、意見を反映できるように努めている。また運営推進委員会でも家族の意見を反映させている	希望等機会ある毎に尋ねてはいるが、発言は少ない。玄関に意見箱を設置しているが、利用されていない	職員は何時も笑顔で話しやすい雰囲気の中で、利用者や家族と接している。どんな要望や意見に対しても真摯に向き合い、意見は、全職員ですぐに検討し、支援に活かしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の主任者会議や職員会議で意見や提案を出して、意見交換をし反映させている	月1回の主任者会議や職員会議で意見や提案を出して、意見交換をし反映させている	定例の会議や毎日の引き継ぎだけでなく、随時、または必要に応じて意見交換の機会を設けている。そして忌憚なく意見を出し合い、運営に活かしている。利用者第一の支援、次に繋がる行事の反省、洗剤や芳香剤の管理、交通事故防止対策など多くの例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	チャレンジシートを作成し自己評価と上司の評価により、実績評価を行い、職場環境に努めている	チャレンジシートを作成し自己評価と上司の評価により、実績評価を行い、職場環境に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	上司評価の他、各種研修会に積極的に参加させ、内部研修及び資格取得の為、研修会を実施している	上司評価の他、各種研修会に積極的に参加させ、内部研修及び資格取得の為、研修会を実施している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	白石町グループホームの地域連携協議会で定期的に相互訪問、交流活動により情報交換、勉強会を行い、資質、サービスの向上に努めている	白石町グループホームの地域連携協議会で定期的に相互訪問、交流活動により情報交換、勉強会を行い、資質、サービスの向上に努めている		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Aユニット)	自己評価／ユニットB(Bユニット)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に面会に行ったり、ホーム見学に来てもらい会話をし、少しでも慣れてもらおうと努めている	コミュニケーションに努め、本人をよく理解した上で本人の安心を得る対応に努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	十分な入所アセスメントを行い、家族とも十分に話しをしている。また、面会時には家族に状況報告を行っている	家族の要望等にしっかり耳を傾け、信頼関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まず、本人の声を聴き、家族の希望と合わせ必要な支援を見極めるよう努めている	入所した時点でどのような支援を必要としているか見極めをしっかりとる様に努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家庭的な生活環境の中で食事の支度、洗濯物置み等職員と共に助け合いながらやっている	洗濯物置み、掃除、料理のつぎ分け等お手伝いをお願いしたり、知らない事を教えてもらったり、共に協力・支え合いながら過ごしよう努めている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	病院受診や外出支援など、家族の協力を得たり、面会時には状況報告をし、特に体調の変化があったら連絡を取り協力を得ている。また穏やかに過ごして頂ける様家族の協力を得る事もある	帰宅願望が強かった時、電話をかけてもらったり来てもらったり、また受診、散髪、面会、外泊、外出等協力していただき職員と共に支援していく関係を築いている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	正月やお盆の親類集まりにはお迎えをお願いし、知人の面会や外出支援を気軽にして頂けるようにしている	デイサービス利用時の昔の友達の所へ連れて行ったり、自宅での正月やお盆の集まり時は、呼んでいただける様お願いしたりしている	近所の店への買い物、お地藏さん詣り、一時帰宅の支援、兄弟や親類への呼びかけ、馴染みの美容室の利用等、多くの支援の例がある。知人やかつての教え子の訪問もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り傾聴したり、利用者同士が良い関係でいられるよう、その方に合った支援に努めている	気の合う仲間、一緒にいて話しが噛み合わなくても落ち着ける、いわば相性の合う人と関わり合えるような支援に努めている		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Aユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(Bユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族に会った時などは、挨拶を交わす程度である	相談や支援はしていないが、昔の利用者さんの家族がたまに訪問したりして下さる		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	なるべく本人にも尋ねて困難な時は、意に沿ったプランをたてている	本人の希望、意向を聞き、それに添うように努めている。困難な場合は必要な事を見極め、本人本位に検討している	理念の実現には利用者の思いや意向を把握することが欠かせないことは職員の共通の認識である。心に寄り添い、ちょっとした行動や表情、つぶやき等からも、利用者の意向を把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴や環境等、入所時に家族等からアセスメントしている	生活歴等、情報提供書を活用し、これまでの暮らし方の把握に努め、それに近い対応を心掛けている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日誌やケース会議、報連相等で情報にて把握している	日勤、夜勤日誌、バイタルチェック表等しっかり目を通し、個人の現状把握に努め、一まとめにせず出来る限り各自に合わせた対応をする様努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の意見を聞いたり、家族の意向を取り入れる等、またケース会議では、職員で話し合いと現状に即した介護計画を作成している	介護スタッフとの話し合いが一番多く、家族様は同意をされる事が多く、希望はあまり言われなかったが協力は惜しまずにして下さった	スタッフと家族が話し合い、より具体的に実現可能な計画が詳細に作成されている。解決すべき課題に対して、丁寧な援助計画が立てられている。計画の評価や見直しもきちんとされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や日誌等を記録し、またケース会議で情報を共有し、実践や介護計画の見直しに活かしている	交替勤務でもしっかり情報が共有できるように日誌、夜勤日誌、バイタルチェック表等記録に残し、皆に伝わり実践また介護計画の見直しに繋げている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状況、変化に応じてサービス提供も柔軟に対応しているが、まだ検討の余地のあるものもある	その時々で最善の対応が出来るように既存のサービスにこだわりすぎない様にし、現在、言語リハビリの必要な方がおられ、専門的ではないが出来る限り、皆さんと一緒にしたりして対応している		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Aユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(Bユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアを受け入れたり、消防団との合同訓練等、地域の方の協力を得ている	近くの小学校の運動会見物や散歩、保育園児との交流、神社への初詣等実施している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は家族の希望で選択して頂き、事業所も主治医と関係を築いている	納得の得られたかかりつけ医に受診されており、近隣の医院には受診介助も行い、家族介助の時は、情報提供もしている	本人や家族の希望するかかりつけ医での受診である。協力医療機関は事業所のすぐ近くでもあり、受診に同行したり、往診も含めて何時でも対応出来る体制にある。相談する機会も多々ある。歯科医は訪問歯科を利用している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホームの看護師に情報や気づきを伝え、常に相談している	介護職員は利用者の体調に気配り、変化や服薬等、看護職員と相談、利用者の適切な受診や看護を受けられる様支援している。看護職員がいる事が、介護職員は相談に乗ってもらえる安心に繋がっている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院の時は付き添い、情報交換や相談をしている。地域連携室との関係作りも行っている	情報交換を行い、病院のケアマネとの関係作りも行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合は、家族とも話し合いを重ね、家族の納得を得ている	出来る限りの事を行い、状態報告を密にする事で家族との支援を共有している	入居時に家族と納得のいく話し合いがもたれている。その後も状況の変化に応じて主治医や家族と話し合いながらの支援である。これまで、看取り事例は無いが、主治医と連絡を取りながら、利用者や家族の意向に沿った支援をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修で学び、職員会議で職員が共有したり、練習用のAEDで実践を行っている	AEDの講習会、感染症発生時、緊急時の対応マニュアルの把握等定期的に行っている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練を行い、消防団や地域住民の協力を得て合同で避難訓練を行っている	年に2回、地元の消防団や近隣の協力員の協力のもと、夜間と日中の訓練を行っている	地元の消防団や近隣住民の協力を得ながらの避難訓練が行われている。地震、台風、水害、停電、断水時の対応も練られている。非常食や水の備えはこれからの課題として受け止めている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Aユニット)	自己評価／ユニットB(Bユニット)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重しプライバシーを損ねない言葉かけや対応を心掛けている	人格尊重を心掛け、言葉かけや対応をしているものの利用者の中にはなかなか通せず、急な行動をされる方があり、制止の言葉を急に発したりと苦慮している	職員は、利用者を目上の人として敬う気持ちを持ち続けており、利用者のこれまでの生活から教えられることも多い。言葉のかけ方や使い方についても、接遇の勉強会等を通して共通理解を図りながらの支援をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	傾聴を大切に、話しやすい表情に心掛け自己決定出来るように働きかけている	自己決定ができるよう「～しましょうか」と問いかけるような声掛けを心掛けている。自分の思いや希望を言われるようにもなってこられた		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に支援に心掛けているが、時折、職員の都合を優先することもある	起床時間や入浴等、各自のペースを大切にその方のペースに合った対応を心掛けている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣介助時等は、本人様に何を着られるか尋ねたり、洋服の組み合わせ等のアドバイスをしている	定期的な散髪やおしゃれに自分の意見や好みを持っている方には、それに合わせまた、それが無い方には、その人らしさが表されるよう気を配っている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様と一緒にテーブルで食事をし、一緒に調理をすることも。準備、食事、片付けも楽しんで頂いている	誕生日の時は当事者の好みのものを取り入れる様努め、おはぎや寿司、団子汁等は職員と一緒に作ったり、つぎ分け等出来る方には手伝って頂いている	職員もそれとなく見守りながら、一緒に同じ食事をいただいている。食事を摂る時は食べる事に集中して、その後に談笑がある。利用者が牛蒡削ぎやもやしのごしらえ、食後の後片付けをする様子もうかがえる。栄養士による高齢者向けの献立となっており、検食もきちんと行われている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の献立にもとづいて作り、一人ひとりの状態に合わせた食事内容や形態に変えて支援する時もある	食事量や食事形態(刻み、ミキサー、とろみ)等は個人に合わせまた、夕方からはお茶は止め、白湯にしたいという方もあり各々に対応している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアへの声掛け、誘導、また介助し週一回は必ず義歯洗浄を行っている	毎食後の口腔ケアの介助の必要な方が増え、各々対応。週に1～2回ローテーションで義歯洗浄。義歯の不調時は訪問歯科にて調整していただいている		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Aユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(Bユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間を見てトイレ声掛け誘導をしている。また利用者様の羞恥心とプライバシーに十分配慮している	排泄パターンを把握し声掛けて誘導したりして失敗が減っている方もいるが、段々対応が難しくなって巡視毎にパット確認・交換をし、また尿量が多く横漏れもあり、色々工夫している	利用者一人ひとりに合った支援である。排泄習慣もこまめに把握するように努め、それとなく声をかけて、利用者の尊厳に配慮して支援されている。トイレレットペーパーの置き方も使い易いよう工夫されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動や水分補給に努め、食物繊維の多い食品を食事やおやつに取り入れ予防に努めている	個々に応じた便秘対策として乳酸菌飲料、食物繊維飲料、歩行運動等を行っている。また医師、看護職員へ相談し便秘薬の調整等行ない予防に取り組んでいる		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決まっているが、一日をかけて利用者の気分に合わせた支援をしている。またゆっくりコミュニケーションを図りながら支援をしている	曜日は決まっているが、時間帯や入浴時間、長風呂が好きな方には、ゆっくり入っていたり、希望に合わせた入浴支援をしている	一人ひとりの希望や気持ちに合わせてゆっくりとした入浴支援である。また、利用者と職員のコミュニケーションがたくさん取れる時間でもある。時には足湯の利用もあり、入浴は心も温まる時間となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望を優先し、自由に居室でゆっくり休んで頂いている。居室の空調管理にも気をつけ不安な方には、付き添いし安心して休んで頂く様努めている	最近、朝起きの苦手な方が増えたが、個人に合わせてゆっくり休んで頂いている。また、不眠で薬の希望のある方には医師の指導のもと服薬介助している。また、午睡も個人に合わせて対応している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋に目を通したり、報連相ノートに記入し確認を行い、症状の変化の確認に努めている	薬の目的や用法・用量について理解に努め、服薬介助。副作用についても医師の助言や体調変化に気をつけ、薬の調整を言われていない方には、適宜対応している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	張りを持って生活が出来る様その人に合った仕事を見つけ出し支援している。またお手伝い、レクリエーションを楽しんでもらっている	出来る事の把握に努め、手伝いの喜びや楽しみ事の提供、気分転換の支援をしている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩やドライブ、買い物等出掛け、季節、天候、体調を見ながら活動を支援している	利用者からの散歩等の外出希望は少ない。気候、体調をみてホーム周辺の散歩や買い物付き添いに誘ったりしている。家族も気分転換等での外出に協力して下さっている	近くの店までの買い物や、近所までの散歩も多い。車椅子で散歩される方もある。玄関脇で日光浴をしたり、広い苑内の敷地へ出て、さわやかな気持ちを味わう方もある。外出の際は、特に体調に気を配りながら支援している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(Aユニット) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(Bユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持っていて安心される方は少し所持されているが、家族より預かって希望があれば使える事を話している	お金を所持、使用できる方は少ない。また少量のお金を持つ事で安心される方もいる		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	姉妹から電話を取り次いだり、年賀状を本人の自筆を入れて出している	電話の希望がある時は、介助にて家族に電話をされたり、また手紙の返事を出される様支援したりしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やウッドデッキには、季節の花を飾ったり、植えて楽しんでもらっている。遮光にはカーテンを利用したり、空間作りについたてを利用している。	快適な住環境提供に注意を払い、カーテンの開閉、温度調整等こまめに対応。壁の装飾も1年の流れを感じられる様工夫し、季節の花を飾ったりしている	不快な雑音や光はない。自然光を出るだけ取り入れているが、日差しが強い時は、簾やカーテンでまぶしさを防いでいる。夏場は緑のカーテンも活用するなど、季節感に配慮が感じられる居間である。広いウッドデッキや玄関先のベンチも多様に活用されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	景色の良い場所に椅子を置いて会話に花を咲かせたり、お友達の居室へ遊びに行くなどされている	畳の間は不自由になられて利用が減り、ソファやテーブル自席に掛けられる事が多いので、利用者同士の関係を考慮してテーブル席を考え、トラブルが起きたりしない様工夫した		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた寝具を持って来られたり、ご主人や孫・ひ孫さんの写真を飾ったり、花を飾ったりされている	使い慣れた枕を持ち込まれている方、小布団を持って来られている方、思い出の写真やプレゼントを飾っておられる方、ぬいぐるみや人形をベットに置いて一緒に休まれている方、椅子を持って来られている方と好みの物を使用し、自分の部屋が居心地良くなる様工夫する	どの居室とも使い慣れたもの、馴染みのものがあり、一人ひとりがゆったりと落ち着いて暮らせる場所になっている。家族の利用者に対する思いが伝わる居室でもある。居室入口の表札もその方に合わせて高さを変える等の工夫も見られる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共同の場所に貼紙をしたり、自らの居室入口には名前を書いて分かりやすい様にしている。安心して歩けるよう、手すりを設置している	目印や危ない物の片付け、自他の物がわからない方の対応等工夫している		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない